

第1回認プロFD講演会を開催

2015年5月18日

5月18日(月)に金沢大学医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室において、福井大学医学部分子病理学領域内木宏延教授並びにカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)医学部神経学教室 David B. Teplow 教授を迎え、「第1回認プロFD講演会」を開催しました。

講演会では、内木教授には、“Molecular pathogenesis of amyloid fibril formation and deposition”と題して、アミロイド凝集の病理および分子メカニズムについて、Teplow 教授には、“Amyloid β -protein oligomerization and the molecular pathogenesis of Alzheimer's disease”と題して、アミロイド β 蛋白の早期凝集体であるオリゴマー研究の最新の進歩と研究哲学について、それぞれご講演いただきました。

FD講演会には、全9施設から、TV会議システムを介し、医師、研究者、学生、教育コース履修者等約70名が参加し、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



講演会場 金沢大学の様子



福井大学医学部 分子病理学領域 教授 内木宏延 先生



カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 医学部 教授 David B. Teplow 先生



NINPRO

文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）

第1回 認プロFD講演会

このたび、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）神経学教室 David B. Teplow 教授および福井大学分子病理学教室 内木宏延教授をお招きして、アミロイドに関するセミナーを下記のとおり開催します。Teplow 教授は、アミロイド研究の第一人者で、アミロイド凝集の基礎である重合核依存性重合モデルや早期凝集体オリゴマーの提唱者です。内木教授は、アミロイド研究で最も重要な実験方法であるチオフラビン色素法の発見者です。お二人とも世界を代表するアミロイド研究者であり、大変興味深いお話を拝聴できるものと思います。大学院生や学生の皆さんもお気軽に御参加ください。

記

担 当：金沢大学（開催及び発信）
日 時：平成 27 年 5 月 18 日（月）17 時～18 時 30 分
場 所：（開催場所）金沢大学教育棟地下大多目的室及び
認プロ参加施設テレビ会議システム設置室

（配信先）富山大学（附属病院 2 階カンファレンスルーム 2）、福井大学（院生棟 4 階セミナー室）、金沢医科大学（基礎研究棟 3 階大学院セミナー室）、国立病院機構医王病院（臨床研究棟会議室）、国立病院機構北陸病院（特殊診療棟 2 階小会議室）、石川県立高松病院（医局会議室）、谷野呉山病院（共有棟 1 階ミーティング室）、福井県立すこやかシルバー病院（管理棟 2 階応接室）

Lecture 1. (17:00～17:30)

Prof. Hironobu Naiki

Division of Molecular Pathology, University of Fukui

“Molecular pathogenesis of amyloid fibril formation and deposition”

Lecture 2. (17:30～18:30)

Prof. David B. Teplow

Department of Neurology, David Geffen School of Medicine at UCLA

“Amyloid β -protein oligomerization and the molecular pathogenesis of Alzheimer's disease”

※講演会は、質疑応答も含め英語で行われます。

申し込み不要

出席者は受付で出席受付簿に記入し、教育コース履修者は本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けてください。